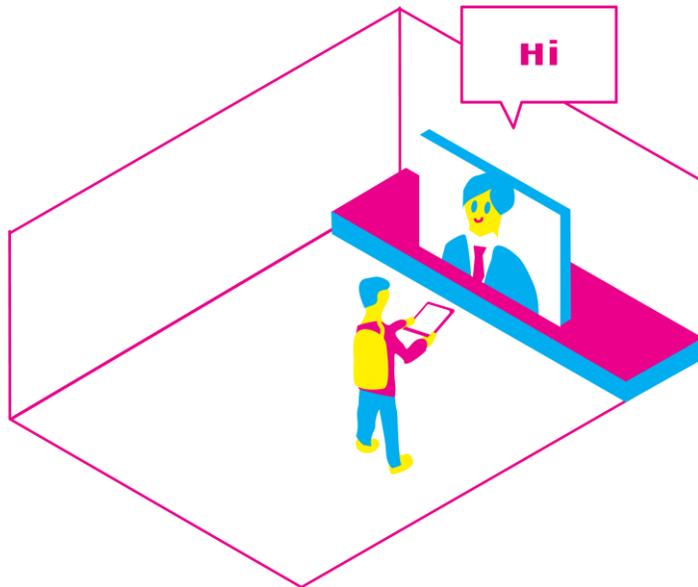


今治市デジタル未来戦略

(別添2) デジタル関連用語集

- 「今治市デジタル未来戦略」に使われているデジタル関連用語や、カタカナ用語などを説明しています。
- 本戦略における意味や用法を中心に説明しているため、一般的な辞書などに掲載されている主たる意味と多少異なる場合があります。



- 1 今治市デジタル未来戦略 基本戦略
- 2 今治市デジタル未来戦略 実施戦略
- 3 (別添1) 進捗管理表 (各年度)
- 4 **(別添2) デジタル関連用語集**
 - (1) 掲載順
 - (2) アルファベット・50音順

今治市役所 総合政策部 未来デジタル課
〒794-0081

愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1

電話 0898-36-1509 (直通)

e-mail mirai@imabari-city.jp

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
1	デジタル	でじたる	デジタル digital	機械で情報を扱う際の表現方法の一つで、二進法のような段階的な数値で処理する方式。転じて、インターネットやコンピュータに関連するものの総称。→アナログ	基本戦略	2ページ
2	DX	でいーえつくす	デジタル トランスフォーメーション Digital Transformation	日本語では「デジタル革新」「デジタル変革」などと訳される。デジタル技術を用いてよりよい変革をもたらすこと。（英語では「trans」を「X」と略す文化があるため、DTではなくDXと略す。）→デジタル	基本戦略	2ページ
3	ビジョン	びじょん	ビジョン vision	将来の見通し、展望のこと。本戦略の場合、今治の未来を検討すること。	基本戦略	3ページ
4	ICT	あいしーていー	インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー Information and Communication Technology	情報通信技術のこと。主に通信技術を利用したコミュニケーションを指し、情報処理だけでなく、インターネットなどの通信技術を利用した産業やサービスの総称としても使われる。	基本戦略	4ページ
5	スマート自治体	すまーとじちたい	スマート ミュニシパリティ smart municipality	AI（人工知能）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）のようなソフトウェアロボットなどの技術を駆使して、定型的な業務を自動化したり、共通基盤を用いて効率的にサービスを提供したりすることを可能とした自治体のあり方。→AI、RPA	基本戦略	4ページ
6	スマートシティ	すまーとしてい	スマートシティ smart city	ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域のあり方。	基本戦略	4ページ
7	ソーシャルキャピタル	そーしゃるきゃぴたる	ソーシャルキャピタル social capital	信頼関係、規範、相互扶助、人的ネットワークなど、人と人や組織などとのつながりを、資本・資源としてとらえた概念。「社会関係資本」「人間関係資本」ともいう。	基本戦略	6ページ
8	プロセス	ぷろせす	プロセス Process	一連の「行為」や「過程」「方法」等のこと。	基本戦略	7ページ
9	リテラシー	りてらしー	リテラシー Literacy	ある分野に関する知識やそれを活用する能力のこと。例として、「ITリテラシーが高い」とは、「IT分野に関して知識や経験、能力が高い」ということ。	基本戦略	8ページ
10	アナログ	あなるぐ	アナログ analog	情報を段階的な数値で扱う「デジタル」に対し、連続的に変化する量で扱うことを差す。本戦略では「デジタル」の対義語として、インターネットやコンピュータ、電子機器によらない、旧来のやりかたという意味。→デジタル	基本戦略	8ページ
11	ツール	つーる	ツール tool	道具や工具、手段や方法という意味。デジタルの分野では、ソフトウェアのことを指すこともある。→ソフト	基本戦略	9ページ
12	コンソーシアム	こんそーしあむ	コンソーシアム Consortium	共同事業体のこと。2つ以上の個人、企業、団体等から成る団体であり、共同で何らかの目的に沿った活動を行う目的で結成される。	基本戦略	10ページ

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
13	コミュニティ	こみゆにてい	コミュニティ community	「共同体」や「地域社会」のこと。	基本戦略	10ページ
14	アジャイル	あじゃいる	アジャイル agile	「素早い、俊敏な」という意味。ITシステムの開発概念のひとつで、小規模で短期間のサイクルを何度も繰り返していく手法を差す。	基本戦略	10ページ
15	プロトタイプ	ぷろとたいぷ	プロトタイプ prototype	試作品。デモンストレーションや、新技術・新機構の検証、試験などのために、少数だけ作成される原型。	基本戦略	10ページ
16	SNS	えすえぬえす	ソーシャル ネットワーキング サービス Social Networking Service	インターネット上で社会的なつながりを構築するためのサービス。そのサービスの登録ユーザー同士がサービス上で交流できる会員制Webサービスの総称。代表的なサービスには、ツイッターやインスタグラム、LINEなどがある。	基本戦略	10ページ
17	クオリティ	くおりてい	クオリティ quality	「質」のこと。	基本戦略	11ページ
18	シビックプライド	しばっくぷらいど	シビックプライド Civic Pride	市に対する市民として誇りのこと。市をより良くするために自身関わっているという当事者意識を持っていること。	基本戦略	11ページ
19	スタートアップ	すたーとあっぷ	スタート アップ start up	起業。新設したばかりの企業。特に、新しいビジネスモデルにより新たな価値を創造する企業形態を言う。	基本戦略	12ページ
20	オープンデータ	おーぷんでーた	オープンデータ OpenData	誰でも無償で利用できるよう公開されたデータのこと。コンピュータで処理しやすい形式で加工されており、複製や加工、再利用が可能。官民を問わず多くの団体から、統計データや防災情報、交通情報など多様なデータが公開されている。	基本戦略	15ページ
21	クラウド	くらうど	クラウド cloud	クラウド・コンピューティングの略。インターネットなどでサービスを提供する形態のこと。	基本戦略	15ページ
22	API	えーびーあい	アプリケーション プログラミング インター Application Programming フェイス Interface	プログラムやソフトウェアにおいて機能を共有し、別のプログラムやソフトウェアでも連携できるようにする仕組み。	基本戦略	15ページ
23	ソリューション	そりゆーしょん	ソリューション solution	解法、解決策、回答などの意味。または、課題解決のためのシステムやサービスのことをいう。	実施戦略	3ページ
24	IoT	あいおーていー	インターネット オブ シングス Internet of Things	直訳すると「モノのインターネット」。家電や乗り物、産業機械などのモノがインターネットに接続され、サーバーと情報交換することで、遠隔管理や情報収集が可能になったもの。	実施戦略	6ページ
25	EBM	いーびーえむ	エビデンス ベース メディシン Evidence-Based Medicine	「根拠に基づく医療」を意味する。経験や勘ではなく、具体的なデータや、客観的な結果から導かれる治療方法のことをいう。	実施戦略	6ページ

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
26	AI	えーあい	アーティフィカルインテリジェンス Artificial Intelligence	人工知能。人が指示することなく自動的に作業を行うことのできるプログラム。データを取り込んで学習することができる（機械学習）。翻訳や自動運転、チャットボット、画像診断など多くの分野で活用されている。	実施戦略	6ページ
27	健康ポイント	けんこうほいんと	ヘルスポイント health point	健康づくりの意識付けとしてインセンティブを与える制度。健康づくりをすることで、医療費等の削減にも繋がることから取り入れる自治体も増えてきている。→インセンティブ	実施戦略	6ページ
28	eスポーツ	いーすぽーつ	エレクトロニック スポーツ Electronic sports	ビデオゲームをスポーツ競技として行う事。IOC（国際オリンピック委員会）も注目しており、将来的にオリンピックの正式種目になる可能性もある。	実施戦略	6ページ
29	ネウボラ	ねうぼら	ネウボラ neuvola	妊娠期から出産、子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する制度。 ※フィンランド語	実施戦略	7ページ
30	チャット	ちゃつと	チャット Chat	リアルタイムで会話ができるサービス。会話とは「文字」や「音声」で行われるコミュニケーションである。	実施戦略	7ページ
31	プッシュ型	ぷっしゅがた	プッシュタイプ PUSH type	利用者が能動的な操作や行動を行わずに、提供する側から自動的に行なわれるタイプの技術やサービスのこと。反対語に自分から能動的に取得する「プル型」がある。	実施戦略	7ページ
32	モビリティ	もびりてい	モビリティ mobility	「移動性」「動きやすさ」などの意味。公共交通の分野では、人の移動手段、乗り物、交通システムなどの意味で用いられる。	実施戦略	8ページ
33	ドローン	どろん	ドローン drone	無線による遠隔操縦、あるいは搭載コンピュータにあらかじめプログラムされたパターンで自律飛行をする無人航空機。	実施戦略	8ページ
34	ライドシェア	らいどしえあ	ライドシェア ride share	一般的には乗り合いサービスのこと。一つの乗用車を複数人で利用する。本戦略では主に「乗り合いタクシー」「乗り合いバス」のことを指す。→オンデマンドタクシー	実施戦略	8ページ
35	オンデマンドタクシー	おんでまんどたくしー	オンデマンド タクシー on demand taxi	利用者の予約に応じて運行する、乗り合い型の新しい公共交通サービス。車両にバスを使用する場合は「オンデマンドバス」ともいう。→ライドシェア	実施戦略	8ページ
36	フードロス	ふーどろす	フードロス foodloss	「食品ロス」ともいい、本来食べられるはずの食品を捨ててしまうことをいう。SDGsの掲げる問題の一つとして取り上げられている。→SDGs	実施戦略	10ページ
37	3R	すりーあーる	スリーアール 3R	Reduce（リデュース）：減量、Reuse（リユース）：再使用、Recycle（リサイクル）：再生の3つのRの総称。この並びは優先する順番でもある。→さんあ〜る	実施戦略	10ページ
38	エコアクション	えこあくしょん	エコアクション eco action	環境への取り組みを効果的、効率的に行うこと。	実施戦略	10ページ

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
39	さんあ〜る	さんあーる	—	今治市ごみ分別アプリのこと。→3R	実施戦略	10ページ
40	バーチャル	ばーちやる	バーチャル virtual	仮想的。疑似的。実体を伴わないが、実質的に存在すること。デジタルの分野では、バーチャルリアリティ（＝VR。仮想現実）という言葉で、コンピュータ上に再現・構築された、本物のような空間やキャラクターなどを指して使われることが多い。→VR	実施戦略	11ページ
41	VR	ぶいあーる	バーチャルリアリティ Virtual Reality	現実とは違う「仮想現実」「仮想空間」の事で、現実の空間には存在しない、コンピューターで作られた世界。仮想空間を利用することで、物理的な距離はなくなる。	実施戦略	11ページ
42	コンテンツ	こんてんつ	コンテンツ content	情報の内容そのものこと。本や音楽、映像の内容などを指すこともあれば、「瀬戸内海の観光地」や「しまなみ海道サイクリング」などといった「価値のある中身」を指すこともある。	実施戦略	11ページ
43	ポータルサイト	ぼーたるさいと	ポータルサイト Portal site	インターネットの玄関口となるWEBサイトのこと。	実施戦略	11ページ
44	インクルーシブ	いんくるーしぶ	インクルーシブ inclusive	「包括的」「包み込むような」という意味。本戦略では、人間の多様性を尊重し、障がい者や高齢者、マイノリティー（少数者）などが孤立したり排除されたりせず、社会の構成員として「包み込むように」みんな一緒に社会生活を送ることをいう。	実施戦略	12ページ
45	マイノリティ	まいのりてい	マイノリティ minority	少数派、少人数を表す意味。	実施戦略	12ページ
46	分身ロボット	ぶんしんろぼと	アバター ロボット avatar robot	インターネットを通じ、自身の分身として離れた場所で活動するロボット。	実施戦略	12ページ
47	デジタルデバイド	でじたるでばいど	デジタル デバイド digital divide	デジタル技術を利用できる層とできない層との間で生じる格差のこと。「デジタル格差」。デバイドは「分割する」「分裂する」といった意味。「デジタルデバイド」ともいう。→デジタル	実施戦略	13ページ
48	インフラ	いんぷら	インフラストラクチャー infrastructure	日々の生活を支える基盤（下部構造）のこと。たとえば、公共施設、ガス・水道、道路・線路、電話・電気など、“それがないと生活がなりたないもの”を指す。	実施戦略	13ページ
49	UI	ゆーあい	ユーザーインターフェイス User Interface	サービスやプロダクト（製品）とユーザーの接点のこと。例えば、アプリの画面のデザインやフォント、ボタンの位置や形などもUIにあたる。「UIが良い」とは、見やすく使いやすいということ。→UX	実施戦略	13ページ
50	Wi-Fi	わいふあい	ワイファイ Wi-Fi	通信方式の一つ。免許不要で使えることや、スマートフォンやパソコンをはじめ簡単に接続できる機器が数多く販売されていることから、一般的な無線通信として利用されている。	実施戦略	13ページ
51	キャッシュレス	きゃっしゅれす	キャッシュレス Cashless	現金を使わずに支払いをすること。クレジットカードや二次元バーコード、電子マネー決済などがある。	実施戦略	14ページ

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
52	ビッグデータ	びつくだーた	ビッグデータ Big Data	非常に大きなデータ群のこと。「量（volume）」「種類（variety）」「入出力や処理の速度（verocity）」の3つの要素から成り立つ。ビッグデータを収集・分析することで、医療やマーケティング、交通や災害予測など様々な分野に活かすことができる。身近なところでは天気予報が代表的な事例。	実施戦略	14ページ
53	イノベーション	いのべーしょん	イノベーション innovation	「新たな考え方」や「新たな技術」のこと。	実施戦略	16ページ
54	シビックテック	しびつくてつ	シビックテック Civic Tech	市民が行政と連携し、テクノロジーを使って生活の利便性向上を図ること。	実施戦略	16ページ
55	インスピレーション	いんすぴれーしょん	インスピレーション inspiration	「直感」や「ひらめき」のこと。	実施戦略	16ページ
56	マイスター制度	まいすたーせいど	マイスターシステム Meister System	もの作り等において、専門的な技能を持つ者をマイスターと呼び、そのマイスターを認定したり、マイスターになるための育成を行うこと。→ プロ制度	実施戦略	16ページ
57	プロ制度	ぷろせいど	プロフェッショナル システム Professional System	マイスター制度と同様に、専門的な資格や知識を持ち仕事において、その知識を存分に発揮してもらう認定制度のこと。→ マイスター制度	実施戦略	16ページ
58	デジタルマーケティング	でじたるまーけていんぐ	デジタルマーケティング digital marketing	検索エンジンやSNSなど、あらゆるデジタルテクノロジーを活用した販売手法のこと。→ SNS	実施戦略	17ページ
59	ECサイト	いーしーさいと	エレクトロニック コマース サイト Electronic Commerce site	インターネット上で商品やサービスを販売する店舗・ショップのこと。→ eコマース	実施戦略	17ページ
60	i.i.imabari!	あいあいいまばり	アイアイマバリ i.i.imabari!	「I'm Into IMABARI（今治にハマってます）」という意味。 i.i.imabari!（アイアイ今治）キャンペーンは、みんなで今治市を盛り上げ、つい夢中になってしまうような今治の魅力を、広く世界に発信するための活動。	実施戦略	17ページ
61	ブランディング	ぶらんでいんぐ	ブランディング branding	他と差別化をする要素のこと。本資料の場合、今治の「良いところ」を他と比較して展開していくこと。→ i.i.imabari!	実施戦略	17ページ
62	人流データ	じんりゅうでーた	ピープル フロー データ People flow data	人の移動をデータ化したもの。リアルタイムで活用したり、行動分析に利用する。コロナ禍において、人の流入流出を示したことで一般的になった。	実施戦略	18ページ
63	メタバース	めたばーす	メタバース metaverse	VR（仮想空間）の一つで、主に3次元仮想空間のこと。アバター（仮想空間の分身）を利用し、仮想空間内で社会生活や経済活動を行うことができる。→ VR	実施戦略	21ページ
64	インセンティブ	いんせんていぶ	インセンティブ Incentive	仕事等の成果による報酬等のこと。人の行動を変化させる要因にもなる。	実施戦略	22ページ

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
65	ワーケーション	わーけーしょん	ワーケーション workcation	「ワーク」（労働）と「バケーション」（休暇）を組み合わせた造語。観光地やリゾート地でテレワーク（リモートワーク）を活用し、働きながら休暇をとる過ごし方。働き方改革や、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い提唱された「新しい日常」「新しい働き方」の一つ。→ テレワーク	実施戦略	22ページ
66	ワークショップ	わーくしょっぷ	ワークショップ workshop	参加者の主体性を重視した、講座やグループ学習のこと。	実施戦略	23ページ
67	スマート農業	すまーとうぎょう	スマート アグリカルチャー smart agriculture	ITやIoTなどの最新技術を使った農業形態のこと。データの収集と活用、自動化された農業機器の利用などで、少人数化や生産性の向上が望める。→ IoT	実施戦略	23ページ
68	eコマース	いーこまーす	エレクトロニック コマース Electronic Commerce	インターネット上で商品やサービスを販売すること。	実施戦略	25ページ
69	ワンストップ	ワンストップ	ワンストップ one stop	1か所でさまざまな用事が足りる、何でも揃うという意味。例えば「ワンストップ窓口」では、役所などの複数の窓口に渡る複数の手続きを、一か所で一度に済ませることができる。	実施戦略	27ページ
70	AIコンシェルジュ	えーあいこんしえるじゅ	エーアイ コンシェルジュ AI Concierge	質問や問い合わせに対して、AIが自動応答するサービス。→ AI	実施戦略	27ページ
71	チャットボット	ちゃつとぼつと	チャットボット chatbot	AI（人工知能）を活用した「自動会話プログラム」のこと。→ チャット	実施戦略	27ページ
72	クロスメディア	くろすめでいあ	クロスメディア Crossmedia	一つの商品をSNSやWEB広告といった複数のメディアを横断して広告宣伝すること。→ SNS	実施戦略	28ページ
73	BPR	びーびーあーる	ビジネス プロセス リエンジニアリング Business Process Re-engineering	業務や組織のプロセスからの根本的な見直しを行う取り組みを指す。	実施戦略	29ページ
74	RPA	あーるびーえー	ロボティク プロセス オートメーション Robotic Process Automation	パソコン上で行う定型業務を、ソフトウェアロボットにより自動化すること。この場合のロボットは実体のある機械ではなく、パソコン上のプログラムである。	実施戦略	29ページ
75	テレワーク	てれわーく	テレワーク telework	tele（離れて）とwork（仕事）を組み合わせた造語で、ICTを活用して、職場から離れた場所で仕事をする。在宅勤務や、出張先での勤務、サテライトオフィス勤務などがある。リモートワークと呼ばれることもある。→ サテライトオフィス	実施戦略	30ページ
76	サテライトオフィス	さてらいとおふいす	サテライトオフィス satelliteoffice	サテライト（衛星）のように、企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置したオフィスのこと。従業員の働き方に重点を置いた考え方で、通勤しやすい場所に設置される事が多い。	実施戦略	30ページ
77	スマートオフィス	すまーとおふいす	スマートオフィス smart office	最新のIT技術を導入し、従業員にとって快適で利便性の高いオフィスのこと。	実施戦略	30ページ

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
78	データ連携プラットフォーム	でーたれんけいぶらつと ふおーむ	データリンケージプラットフォーム Data linkage platform	官民が有する多様で膨大なデータを共有し、活用するための基盤。例えば人口や人流、商業や医療、画像や映像などのさまざまなデータを集約、蓄積、分析し、活用しやすい形に加工する機能を備えたデータベースのようなもの。	実施戦略	31ページ
79	マイナンバーカード	まいなんばーカード	マイナンバーカード My Number Card	マイナンバー（個人番号）が記載された顔写真及びICチップ付のプラスチック製のカード。公的身分証明の他に健康保険証など様々な用途に利用でき、運転免許証等としての利用も予定されている。	実施戦略	31ページ
80	EBPM	いーびーぴーえむ	エビデンス・ベースト ポリシーメイキング Evidence-based policy making	その場限りでの改革案にならないよう、根拠に基づいた政策のこと。	実施戦略	32ページ
81	5G	ふあいぶじー	ファイフ ジェネレーション 5th generation	第5世代の事をいう。 今回の資料では、通信規格の5Gを示している。「4G規格=LTE」となっており、その次の規格。Gは“Generation（世代）”の略。	実施戦略	33ページ
82	LPWA	えるぴーだぶるえー	ローパワーワイドエリア Low Power Wide Area	通信規格の一つで「低電力」「低容量」で、比較的遠くまで電波が届く技術のこと。 IoT機器の接続方法の一つとして導入が進んでいる。→IoT	実施戦略	33ページ
83	OJT	おーじえーていー	オン・ザ・ジョブ・トレーニング On-the-Job Training	新人や業務未経験者に必要なスキルや知識を、上司や先輩がトレーナーになり、現場の実務を通じて指導していく教育方法。	実施戦略	34ページ
84	リカレント教育	りかれんときょういく	リカレントエデュケーション recurrent education	学校教育から離れても必要なタイミングで再度教育を受けること。	実施戦略	34ページ
85	オープンイノベーション	おーぶんのいべーしょん	オープンイノベーション open innovation	製品開発や技術改革、研究開発や組織改革などにおいて、自社以外の組織や機関などが持つ知識や技術を取り込んで自前主義からの脱却を図ること。	実施戦略	34ページ
86	リスキリング	りすきりんぐ	リスキリング Reskilling	技術革新やビジネスモデルの変化に対応するために、新しい知識やスキルを学ぶこと。	実施戦略	34ページ
87	ソフト	そふと	ソフト soft	①人材や技術、意識、情報といった形のない要素のこと。②ソフトウェアの略。コンピュータを動かせるためのプログラム（に関する事柄）の総称。→ハード	実施戦略	35ページ
88	ハード	はーど	ハード hard	①施設や設備、機器、道具といった形ある要素のこと。②ハードウェアの略。主に、パソコン本体やスマートフォンなどの機器を指す。→ソフト	実施戦略	35ページ
89	インシデント	いんしでんと	インシデント incident	一般的には出来事、事象、事故を意味する英単語であるが、情報セキュリティの分野ではコンピュータやネットワークのセキュリティを脅かす事象のことをいう。	実施戦略	35ページ
90	デジタルネイティブ	でじたるねいていぶ	デジタル ネイティブ digital native	生まれた時からインターネットやSNSが空気のように当たり前存在する環境下で育った世代のこと。→SNS	実施戦略	35ページ

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
91	MaaS	まーず	モビリティ アズ ア サービス Mobility as a Service	交通移動をサービスと考えると、最適な移動サービスを提供すること。 → オンデマンドタクシー 、 ライドシェア 、 モビリティ	実施戦略	36ページ
92	GPS	じーピーえす	グローバル ポジショニング システム global positioning system	衛星からの電波により位置を測位するシステム。カーナビやスマホの地図アプリ等に利用されている。	進捗管理表	05番
93	コミュニティフリッジ	こみゆにていふりつじ	コミュニティフリッジ communityfridge	公共冷蔵庫。食べ物を共有する相互扶助のひとつ。コロナ禍においての生活困難者への支援やSDGs「食品ロス（廃棄問題）」にも一役をかつている。	進捗管理表	09番
94	XR	えっくすあーる	クロス リアリティ Cross Reality	現実世界と仮想世界を融合することで、現実にはない世界を知覚させる先端技術の総称。「VR（仮想現実）」「AR（拡張現実）」「MR（複合現実）」などや、これらを組み合わせたものをいう。→ VR 、 AR 、 MR	進捗管理表	23番
95	AR	えーあーる	オーグメンテッド リアリティ Augmented Reality	拡張現実。景色や絵画など実際に存在するものに、コンピュータ上で情報を加える技術。たとえば特定の景色にスマートフォンのカメラをかざすことで、現実には存在しないキャラクターが表示されたりする。	進捗管理表	23番
96	MR	えむあーる	ミックスリアリティー Mixed Reality	ARとVRを組み合わせて使う「複合空間」のこと。VRでは固定された位置で体験するが、MRでは自身が動くことで仮想空間も現実空間の様に体験できる。→ AR 、 VR	進捗管理表	23番
97	デジタルツイン	でじたるついん	デジタルツイン DigitalTwin	現実世界のデータをもとに、VR（仮想空間）に全く同じ環境をつくること。現実空間で試すことができない物を仮想空間で試すことも出来ることから注目されている技術。→ VR	進捗管理表	33番
98	NFT	えぬえふていー	ノン ファンジブル トークン Non-Fungible Token	「代替不可能なトークン」のこと。ブロックチェーンで管理された、唯一無二の価値を持つデジタルデータ。デジタルデータは本来複製可能なものであるが、NFTは所有権や取引記録を含むため、デジタルデータであっても「オリジナル」が存在することになり、デジタルアートなどに資産価値を持たせることができる。	進捗管理表	34番
99	コワーキングスペース	こわーきんぐすぺーす	コワーキングスペース Coworking Space	個室等ではなく共有して利用する大部屋のオフィス空間。「共に」という意味の接頭語である“Co”と、「働く」という意味の“Working”、そして「空間」を意味する“Space”からなる造語。	進捗管理表	36番
100	GIS	じーあいえす	ジオグラフィック インフォメーション システム Geographic Information System	電子地図に表示される情報等、全ての地理情報をまとめているシステム。	進捗管理表	40番
101	スマート街路灯	すまーとがいろとう	スマートポール smart pole	街路灯にカメラやセンサーが入っており、街づくりのために情報を集めるもの。	進捗管理表	41番
102	ぴったりサービス	ぴったりさーびす	—	マイナポータルサービスの一つで、地域別にオンライン手続きのできる内容を検索できるシステムのこと。→ マイナポータル	進捗管理表	61番

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（掲載順）

番号	単語	読み方	英語表記	意味・解説	初出	
103	AI-OCR	えーあい おーしーあーる	エーアイ オプティカル キャラクター リーダー AI Optical Character Reader	OCRとは、従来からある、スキャナやカメラで読み取った文字をパソコン上で扱える文字テキストデータに変換する技術のこと。AI-OCRでは、AI学習により、従来の文字認識の弱点であった識字率が向上し、手書き文字の高度な補正読み込みが可能。→AI	進捗管理表	67番
104	標準化モデル	ひょうじゅんかもでる	スタンダードイズモデル standardized model	自治体の業務システムを統一・標準化するモデル作りのこと。それにより、国や自治体間で足並みの揃った行政サービスの提供を実現させられることができる。	進捗管理表	68番
105	フリーアドレス	ぶりーあどれす	フリーアドレス Freeaddress	オフィスの中で固定席を持たずに、ノートパソコンなどを活用して自分の好きな席で働く働き方のこと。	進捗管理表	75番
—	UX	ゆーえつくす	ユーザー エクスペリエンス User Experience	サービスやプロダクト（製品）を通じてユーザーが得る全体的な体験のこと。 サービスとの出会いや利用を通じて感じる印象や感情、感覚を含む。「UXが良い」とは、単に見やすく使いやすだけでなく、サービスを通じて「面白い」「気持ち良い」「便利」などの好印象が生まれること。	参考	—
—	ノーコード	のーこーど	ノーコード NoCode	プログラミングの知識やスキルがなくても、アプリやWebサービスが開発できるサービスのこと。→ローコード	参考	—
—	マイナポータル	まいなぼーたる	マイナポータル Mynaportal	マイナンバーカードを持っている国民が無料で利用できる政府が運営するウェブサイト。マイナポータルを利用することで、オンライン上で行政手続きが簡単に行えるようになる。→マイナンバーカード	参考	—
—	ローコード	ろーこーど	ローコード Low-code	ノーコードに似ているが、最小限のプログラムスキルで、アプリやソフトを開発すること。→ノーコード	参考	—

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集 (アルファベット・50音順)

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
数字	3R	すりーあーる	スリーアール 3R	Reduce (リデュース) : 減量、Reuse (リユース) : 再使用、Recycle (リサイクル) : 再生の3つのRの総称。 この並びは優先する順番でもある。→さんあ〜る
	5G	ふあいぶじー	ファイフ ジェネレーション 5th generation	第5世代の事をいう。 今回の資料では、通信規格の5Gを示している。「4G規格=LTE」となっており、その次の規格。Gは“Generation (世代)”の略。
A	AI	えーあい	アーティフィカルインテリジェンス Artificial Intelligence	人工知能。人が指示することなく自動的に作業を行うことのできるプログラム。データを取り込んで学習することができる(機械学習)。翻訳や自動運転、チャットボット、画像診断など多くの分野で活用されている。
	AI-OCR	えーあい おーしーあーる	エーアイ オプティカル キャラクター リーダー AI Optical Character Reader	OCRとは、従来からある、スキャナやカメラで読み取った文字をパソコン上で扱える文字テキストデータに変換する技術のこと。AI-OCRでは、AI学習により、従来の文字認識の弱点であった識字率が向上し、手書き文字の高度な補正読み込みが可能。→AI
	AIコンシェルジュ	えーあいこんしえるじゅ	エーアイ コンシェルジュ AI Concierge	質問や問い合わせに対して、AIが自動応答するサービス。→AI
	API	えーぴーあい	アプリケーション プログラミング インター Application Programming フェイス Interface	プログラムやソフトウェアにおいて機能を共有し、別のプログラムやソフトウェアでも連携できるようにする仕組み。
	AR	えーあーる	オーグメンテッド リアリティ Augmented Reality	拡張現実。景色や絵画など実際に存在するものに、コンピュータ上で情報を加える技術。たとえば特定の景色にスマートフォンのカメラをかざすことで、現実には存在しないキャラクターが表示されたりする。
B	BPR	びーぴーあーる	ビジネス プロセス リエンジニアリング Business Process Re-engineering	業務や組織のプロセスからの根本的な見直しを行う取り組みを指す。
D	DX	でいーえつくす	デジタル トランスフォーメーション Digital Transformation	日本語では「デジタル革新」「デジタル変革」などと訳される。デジタル技術を用いてよりよい変革をもたらすこと。(英語では「trans」を「X」と略す文化があるため、DTではなくDXと略す。) →デジタル
E	EBM	いーびーえむ	エビデンス ベース メディシン Evidence-Based Medicine	「根拠に基づく医療」を意味する。経験や勘ではなく、具体的なデータや、客観的な結果から導かれる治療方法のことをいう。

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集 (アルファベット・50音順)

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
	EBPM	いーびーピーえむ	エビデンス・ベースト ポリシー メイキング Evidence-based policy making	その場限りでの改革案にならないよう、根拠に基づいた政策のこと。
	ECサイト	いーしーさいと	エレクトロニック コマース サイト Electronic Commerce site	インターネット上で商品やサービスを販売する店舗・ショップのこと。→ eコマース
	eコマース	いーこまーす	エレクトロニック コマース Electronic Commerce	インターネット上で商品やサービスを販売すること。
	eスポーツ	いーすぽーつ	エレクトロニック スポーツ Electronic sports	ビデオゲームをスポーツ競技として行う事。IOC（国際オリンピック委員会）も注目しており、将来的にオリンピックの正式種目になる可能性もある。
G	GIS	じーあいえす	ジオグラフィック インフォメーション システム Geographic Information System	電子地図に表示される情報等、全ての地理情報をまとめているシステム。
	GPS	じーピーえす	グローバル ポジショニング システム global positioning system	衛星からの電波により位置を測位するシステム。カーナビやスマホの地図アプリ等に利用されている。
I	ICT	あいしーていー	インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー Information and Communication Technology	情報通信技術のこと。主に通信技術を利用したコミュニケーションを指し、情報処理だけでなく、インターネットなどの通信技術を利用した産業やサービスの総称としても使われる。
	i.i.imabari!	あいあいいまばり	アイアイイマバリ i.i.imabari!	「I'm Into IMABARI（今治にハマってます）」という意味。 i.i.imabari!（アイアイ今治）キャンペーンは、みんなで今治市を盛り上げ、つい夢中になってしまうような今治の魅力を、広く世界に発信するための活動。
	IoT	あいおーていー	インターネット オブ シングス Internet of Things	直訳すると「モノのインターネット」。家電や乗り物、産業機械などのモノがインターネットに接続され、サーバーと情報交換することで、遠隔管理や情報収集が可能になったもの。
L	LPWA	えるびーだぶるえー	ローパワーワイドエリア Low Power Wide Area	通信規格の一つで「低電力」「低容量」で、比較的遠くまで電波が届く技術のこと。 IoT機器の接続方法の一つとして導入が進んでいる。→ IoT
M	MaaS	まーす	モビリティ アズ ア サービス Mobility as a Service	交通移動をサービスと考えると、最適な移動サービスを提供すること。 → オンデマンドタクシー 、 ライドシェア 、 モビリティ
	MR	えむあーる	ミックスリアリティー Mixed Reality	ARとVRを組み合わせて使う「複合空間」のこと。VRでは固定された位置で体験するが、MRでは自身が動くことで仮想空間も現実空間の様に体験できる。→ AR 、 VR

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（アルファベット・50音順）

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
N	NFT	えぬえふていー	ノン ファンジブル トークン Non-Fungible Token	「代替不可能なトークン」のこと。ブロックチェーンで管理された、唯一無二の価値を持つデジタルデータ。デジタルデータは本来複製可能なものであるが、NFTは所有権や取引記録を含むため、デジタルデータであっても「オリジナル」が存在することになり、デジタルアートなどに資産価値を持たせることができる。
R	RPA	あーるぴーえー	ロボティク プロセス オートメーション Robotic Process Automation	パソコン上で行う定型業務を、ソフトウェアロボットにより自動化すること。この場合のロボットは実体のある機械ではなく、パソコン上のプログラムである。
O	OJT	おーじえーていー	オン・ザ・ジョブ・トレーニング On-the-Job Training	新人や業務未経験者に必要なスキルや知識を、上司や先輩がトレーナーになり、現場の実務を通じて指導していく教育方法。
S	SNS	えすえぬえす	ソーシャル ネットワーキング サービス Social Networking Service	インターネット上で社会的なつながりを構築するためのサービス。そのサービスの登録ユーザー同士がサービス上で交流できる会員制Webサービスの総称。代表的なサービスには、ツイッターやインスタグラム、LINEなどがある。
U	UI	ゆーあい	ユーザーインターフェイス User Interface	サービスやプロダクト（製品）とユーザーの接点のこと。 例えば、アプリの画面のデザインやフォント、ボタンの位置や形などもUIにあたる。「UIが良い」とは、見やすく使いやすいということ。→UX
	UX	ゆーえつくす	ユーザー エクスペリエンス User Experience	サービスやプロダクト（製品）を通じてユーザーが得る全体的な体験のこと。 サービスとの出会いや利用を通じて感じる印象や感情、感覚を含む。「UXが良い」とは、単に見やすく使いやすいだけでなく、サービスを通じて「面白い」「気持ち良い」「便利」などの好印象が生まれること。
V	VR	ぶいあーる	バーチャルリアリティ Virtual Reality	現実とは違う「仮想現実」「仮想空間」の事で、現実の空間には存在しない、コンピューターで作られた世界。仮想空間を利用することで、物理的な距離はなくなる。
W	Wi-Fi	わいふあい	ワイファイ Wi-Fi	通信方式の一つ。免許不要で使えることや、スマートフォンやパソコンをはじめ簡単に接続できる機器が数多く販売されていることから、一般的な無線通信として利用されている。

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集 (アルファベット・50音順)

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
X	XR	えつくすあーる	クロス リアリティ Cross Reality	現実世界と仮想世界を融合することで、現実にはない世界を知覚させる先端技術の総称。「VR（仮想現実）」「AR（拡張現実）」「MR（複合現実）」などや、これらを組み合わせたものをいう。→ VR、AR、MR
あ	アジャイル	あじゃいる	アジャイル agile	「素早い、俊敏な」という意味。ITシステムの開発概念のひとつで、小規模で短期間のサイクルを何度も繰り返していく手法を差す。
	アナログ	あなるぐ	アナログ analog	情報を段階的な数値で扱う「デジタル」に対し、連続的に変化する量で扱うことを差す。本戦略では「デジタル」の対義語として、インターネットやコンピュータ、電子機器によらない、旧来のやりかたという意味。→ デジタル
い	イノベーション	いのべーしょん	イノベーション innovation	「新たな考え方」や「新たな技術」のこと。
	インクルーシブ	いんくるーしぶ	インクルーシブ inclusive	「包括的」「包み込むような」という意味。本戦略では、人間の多様性を尊重し、障がい者や高齢者、マイノリティー（少数者）などが孤立したり排除されたりせず、社会の構成員として「包み込むように」みんな一緒に社会生活を送ることをいう。
	インシデント	いんしでんと	インシデント incident	一般的には出来事、事象、事故を意味する英単語であるが、情報セキュリティの分野ではコンピュータやネットワークのセキュリティを脅かす事象のことをいう。
	インスピレーション	いんすぴれーしょん	インスピレーション inspiration	「直感」や「ひらめき」のこと。
	インセンティブ	いんせんていぶ	インセンティブ Incentive	仕事等の成果による報酬等のこと。人の行動を変化させる要因にもなる。
	インフラ	いんぷら	インフラストラクチャー infrastructure	日々の生活を支える基盤（下部構造）のこと。たとえば、公共施設、ガス・水道、道路・線路、電話・電気など、“それがないと生活がなりたないもの”を指す。
え	エコアクション	えこあくしょん	エコアクション eco action	環境への取り組みを効果的、効率的に行うこと。
お	オープンイノベーション	おーぷんいのべーしょん	オープンイノベーション open innovation	製品開発や技術改革、研究開発や組織改革などにおいて、自社以外の組織や機関などが持つ知識や技術を取り込んで自前主義からの脱却を図ること。

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集 (アルファベット・50音順)

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
	オープンデータ	おーぷんでーた	オープンデータ OpenData	誰でも無償で利用できるよう公開されたデータのこと。コンピュータで処理しやすい形式で加工されており、複製や加工、再利用が可能。官民を問わず多くの団体から、統計データや防災情報、交通情報など多様なデータが公開されている。
	オンデマンドタクシー	おんでまんどたくしー	オンデマンド タクシー on demand taxi	利用者の予約に応じて運行する、乗り合い型の新しい公共交通サービス。車両にバスを使用する場合は「オンデマンドバス」ともいう。→ ライドシェア
き	キャッシュレス	きゃつしゆれす	キャッシュレス Cashless	現金を使わずに支払いをすること。クレジットカードや二次元バーコード、電子マネー決済などがある。
く	クオリティ	くおりてい	クオリティ quality	「質」のこと。
け	健康ポイント	けんこうぼいんと	ヘルスポイント health point	健康づくりの意識付けとしてインセンティブを与える制度。健康づくりをすることで、医療費等の削減にも繋がることから取り入れる自治体も増えてきている。→ インセンティブ
	クラウド	くらうど	クラウド cloud	クラウド・コンピューティングの略。インターネットなどでサービスを提供する形態のこと。
	クロスメディア	くろすめでいあ	クロスメディア Crossmedia	一つの商品をSNSやWEB広告といった複数のメディアを横断して広告宣伝すること。→ SNS
こ	コミュニティ	こみゆにてい	コミュニティ community	「共同体」や「地域社会」のこと。
	コミュニティフリッジ	こみゆにていふりっじ	コミュニティフリッジ communityfridge	公共冷蔵庫。食べ物を共有する相互扶助のひとつ。コロナ禍における生活困難者への支援やSDGs「食品ロス（廃棄問題）」にも一役をかつている。
	コワーキングスペース	こわーきんぐすぱーす	コワーキングスペース Coworking Space	個室等ではなく共有して利用する大部屋のオフィス空間。「共に」という意味の接頭語である“Co”と、「働く」という意味の“Working”、そして「空間」を意味する“Space”からなる造語。
	コンソーシアム	こんそーしあむ	コンソーシアム Consortium	共同事業体のこと。2つ以上の個人、企業、団体等から成る団体であり、共同で何らかの目的に沿った活動を行う目的で結成される。
	コンテンツ	こんてんつ	コンテンツ content	情報の内容そのもののこと。本や音楽、映像の内容などを指すこともあれば、「瀬戸内海の観光地」や「しまなみ海道サイクリング」などといった「価値のある中身」を指すこともある。

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集 (アルファベット・50音順)

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
さ	サテライトオフィス	さてらいとおふいす	サテライトオフィス satelliteoffice	サテライト（衛星）のように、企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置したオフィスのこと。従業員の働き方に重点を置いた考え方で、通勤しやすい場所に設置される事が多い。
	さんあ〜る	さんあーる	—	今治市ごみ分別アプリのこと。→3R
し	シビックテック	しびくくてく	シビックテック Civic Tech	市民が行政と連携し、テクノロジーを使って生活の利便性向上を図ること。
	シビックプライド	しびくぷらいど	シビックプライド Civic Pride	市に対する市民として誇りのこと。市をより良くするために自身が関わっているという当事者意識を持っていること。
	人流データ	じんりゅうでーた	ピープル フロー データ People flow data	人の移動をデータ化したもの。リアルタイムで活用したり、行動分析に利用する。コロナ禍において、人の流入流出を示したことで一般的になった。
す	スタートアップ	すたーとあつぷ	スタート アップ start up	起業。新設したばかりの企業。特に、新しいビジネスモデルにより新たな価値を創造する企業形態を言う。
	スマートオフィス	すまーとおふいす	スマートオフィス smart office	最新のIT技術を導入し、従業員にとって快適で利便性の高いオフィスのこと。
	スマートシティ	すまーとしてい	スマートシティ smart city	ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域のあり方。
	スマート街路灯	すまーとがいろとう	スマートポール smart pole	街路灯にカメラやセンサーが入っており、街づくりのために情報を集めるもの。
	スマート自治体	すまーとじちたい	スマート ミュニシパリティ smart municipality	AI（人工知能）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）のようなソフトウェアロボットなどの技術を駆使して、定型的な業務を自動化したり、共通基盤を用いて効率的にサービスを提供したりすることを可能とした自治体のあり方。→AI、RPA
	スマート農業	すまーとのうぎょう	スマート アグリカルチャー smart agriculture	ITやIoTなどの最新技術を使った農業形態のこと。データの収集と活用、自動化された農業機器の利用などで、少人数化や生産性の向上が望める。→IoT
そ	ソーシャルキャピタル	そーしゃるきゃびたる	ソーシャルキャピタル social capital	信頼関係、規範、相互扶助、人的ネットワークなど、人と人や組織などとのつながりを、資本・資源としてとらえた概念。「社会関係資本」「人間関係資本」ともいう。

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集 (アルファベット・50音順)

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
	ソフト	そふと	ソフト soft	①人材や技術、意識、情報といった形のない要素のこと。② ソフトウェアの略。コンピュータを働かせるためのプログラム（に関する事柄）の総称。→ハード
	ソリューション	そりゆーしょん	ソリューション solution	解法、解決策、回答などの意味。または、課題解決のためのシステムやサービスのことをいう。
ち	チャット	ちゃつと	チャット Chat	リアルタイムで会話が出来るサービス。会話とは「文字」や「音声」で行われるコミュニケーションである。
	チャットボット	ちゃつとぼつと	チャットボット chatbot	AI（人工知能）を活用した「自動会話プログラム」のこと。→チャット
つ	ツール	つーる	ツール tool	道具や工具、手段や方法という意味。デジタルの分野では、ソフトウェアのことを指すこともある。→ソフト
て	データ連携プラットフォーム	でーたれんけいぷらつと ふあーむ	データリンケージプラットフォーム Data linkage platform	官民が有する多様で膨大なデータを共有し、活用するための基盤。例えば人口や人流、商業や医療、画像や映像などのさまざまなデータを集約、蓄積、分析し、活用しやすい形に加工する機能を備えたデータベースのようなもの。
	デジタル	でじたる	デジタル digital	機械で情報を扱う際の表現方法の一つで、二進法のような段階的な数値で処理する方式。転じて、インターネットやコンピュータに関連するものの総称。→アナログ
	デジタルツイン	でじたるついん	デジタルツイン DigitalTwin	現実世界のデータをもとに、VR（仮想空間）に全く同じ環境をつくること。現実空間で試すことができない物を仮想空間で試すことも出来ることから注目されている技術。→VR
	デジタルデバイド	でじたるでばいど	デジタル デバイド digital divide	デジタル技術を利用できる層とできない層との間で生じる格差のこと。「デジタル格差」。デバイドは「分割する」「分裂する」といった意味。「デジタルディバイド」ともいう。→デジタル
	デジタルネイティブ	でじたるねいていぶ	デジタル ネイティブ digital native	生まれた時からインターネットやSNSが空気のように当たり前存在する環境下で育った世代のこと。→SNS
	デジタルマーケティング	でじたるまーけていんぐ	デジタルマーケティング digital marketing	検索エンジンやSNSなど、あらゆるデジタルテクノロジーを活用した販売手法のこと。→SNS

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（アルファベット・50音順）

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
	テレワーク	てれわーく	テレワーク telework	tele（離れて）とwork（仕事）を組み合わせた造語で、ICTを活用して、職場から離れた場所で仕事をする。在宅勤務や、出張先での勤務、サテライトオフィス勤務などがある。リモートワークと呼ばれることもある。→サテライトオフィス
と	ドローン	どろん	ドローン drone	無線による遠隔操縦、あるいは搭載コンピュータにあらかじめプログラムされたパターンで自律飛行をする無人航空機。
ね	ネウボラ	ねうぼら	ネウボラ neuvola	妊娠期から出産、子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する制度。 ※フィンランド語
の	ノーコード	のーこーど	ノーコード NoCode	プログラミングの知識やスキルがなくても、アプリやWebサービスが開発できるサービスのこと。→ローコード
は	バーチャル	ばーちやる	バーチャル virtual	仮想的。疑似的。実体を伴わないが、実質的に存在すること。デジタルの分野では、バーチャルリアリティ（＝VR。仮想現実）という言葉で、コンピュータ上に再現・構築された、本物のような空間やキャラクターなどを指して使われることが多い。→VR
	ハード	はーど	ハード hard	①施設や設備、機器、道具といった形ある要素のこと。②ハードウェアの略。主に、パソコン本体やスマートフォンなどの機器を指す。→ソフト
ひ	ビジョン	びじょん	ビジョン vision	将来の見通し、展望のこと。本戦略の場合、今治の未来を検討すること。
	ビッグデータ	びっくでーた	ビッグデータ Big Data	非常に大きなデータ群のこと。「量（volume）」「種類（variety）」「入出力や処理の速度（velocity）」の3つの要素から成り立つ。ビッグデータを収集・分析することで、医療やマーケティング、交通や災害予測など様々な分野に活かすことができる。身近なところでは天気予報が代表的な事例。
	ぴったりサービス	ぴったりさーびす	—	マイナポータルサービスの一つで、地域別にオンライン手続きのできる内容を検索できるシステムのこと。→マイナポータル
	標準化モデル	ひょうじゅんかもでる	スタンダードサイズモデル standardized model	自治体の業務システムを統一・標準化するモデル作りのこと。それにより、国や自治体間で足並みの揃った行政サービスの提供を実現させられることができる。

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集 (アルファベット・50音順)

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説	
ふ	フードロス	ふーどろす	フードロス foodloss	「食品ロス」ともいい、本来食べられるはずの食品を捨ててしまうことをいう。SDGsの掲げる問題の一つとして取り上げられている。→ SDGs	
	プッシュ型	ぷっしゅがた	プッシュタイプ PUSH type	利用者が能動的な操作や行動を行わずに、提供する側から自動的に行なわれるタイプの技術やサービスのこと。反対語に自分から能動的に取得する「プル型」がある。	
	ブランディング	ぶらんでいんぐ	ブランディング branding	他と差別化をする要素のこと。本資料の場合、今治の「良いところ」を他と比較して展開していくこと。→ i.i.imabari!	
	フリーアドレス	ふりーあどれす	フリーアドレス Freeaddress	オフィスの中で固定席を持たずに、ノートパソコンなどを活用して自分の好きな席で働く働き方のこと。	
	プロセス	ぷろせす	プロセス Process	一連の「行為」や「過程」「方法」等のこと。	
	プロトタイプ	ぷろとたいぷ	プロトタイプ prototype	試作品。デモンストレーションや、新技術・新機構の検証、試験などのために、少数だけ作成される原型。	
	プロ制度	ぷろせいど	プロフェッショナル システム Professional System	マイスター制度と同様に、専門的な資格や知識を持ち仕事において、その知識を存分に発揮してもらおう認定制度のこと。→ マイスター制度	
	分身ロボット	ぶんしんろぼと	アバター ロボット avatar robot	インターネットを通じ、自身の分身として離れた場所で活動するロボット。	
	ほ	ポータルサイト	ぽーたるさいと	ポータルサイト Portal site	インターネットの玄関口となるWEBサイトのこと。
		ま	マイスター制度	まいすたーせいど	マイスターシステム Meister System
マイナポータル	まいなぽーたる		マイナポータル Mynaportal	マイナンバーカードを持っている国民が無料で利用できる政府が運営するウェブサイト。マイナポータルを利用することで、オンライン上で行政手続きが簡単に行えるようになる。→ マイナンバーカード	
マイナンバーカード	まいなんばーかーど		マイナンバーカード My Number Card	マイナンバー（個人番号）が記載された顔写真及びICチップ付のプラスチック製のカード。公的身分証明の他に健康保険証など様々な用途に利用でき、運転免許証等としての利用も予定されている。	
マイノリティ	まいのりてい		マイノリティ minority	少数派、少人数を表す意味。	

今治市デジタル未来戦略 別添2 デジタル関連用語集（アルファベット・50音順）

見出し	単語	読み方	英語表記	意味・解説
め	メタバース	めたばーす	メタバース metaverse	VR（仮想空間）の一つで、主に3次元仮想空間のこと。アバター（仮想空間の分身）を利用し、仮想空間内で社会生活や経済活動を行うことができる。→VR
も	モビリティ	もびりてい	モビリティ mobility	「移動性」「動きやすさ」などの意味。公共交通の分野では、人の移動手段、乗り物、交通システムなどの意味で用いられる。
ら	ライドシェア	らいどしえあ	ライドシェア ride share	一般的には乗り合いサービスのこと。一つの乗用車を複数人で利用する。本戦略では主に「乗り合いタクシー」「乗り合いバス」のことを指す。→オンデマンドタクシー
り	リカレント教育	りかれんときょういく	リカレント エデュケーション recurrent education	学校教育から離れても必要なタイミングで再度教育を受けること。
	リスキリング	りすきりんぐ	リスキリング Reskilling	技術革新やビジネスモデルの変化に対応するために、新しい知識やスキルを学ぶこと。
	リテラシー	りてらしー	リテラシー Literacy	ある分野に関する知識やそれを活用する能力のこと。例として、「ITリテラシーが高い」とは、「IT分野に関して知識や経験、能力が高い」ということ。
ろ	ローコード	ろーこーど	ローコード Low-code	ノーコードに似ているが、最小限のプログラムスキルで、アプリやソフトを開発すること。→ノーコード
わ	ワークショップ	わーくしょっぷ	ワークショップ workshop	参加者の主体性を重視した、講座やグループ学習のこと。
	ワーケーション	わーけーしょん	ワーケーション workcation	「ワーク」（労働）と「バケーション」（休暇）を組み合わせた造語。観光地やリゾート地でテレワーク（リモートワーク）を活用し、働きながら休暇をとる過ごし方。働き方改革や、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い提唱された「新しい日常」「新しい働き方」の一つ。→テレワーク
	ワンストップ	ワンストップ	ワンストップ one stop	1か所でさまざまな用事が足りる、何でも揃うという意味。例えば「ワンストップ窓口」では、役所などの複数の窓口に渡る複数の手続きを、一か所で一度に済ませることができる。